

[別紙]

27年度 目標 学年目標	中期的な目標	指導の重点とする方策	27年度 具体的な取り組み
<p>たくましい子ども 【5歳】 【4歳】 【3歳】 指導計画に記載</p>	<p>◎教職員が連携し、幼児一人ひとりの特性に応じた指導を行うことを通して、幼児の主体的な遊びを促し、幼児が自分の力を十分に発揮する楽しさが味わえるようにする。 ◎体を動かしたくなるような環境を工夫することで、いろいろな動きをする心地よさや楽しさを体験できるようにし、自ら体を動かそうとする意欲が育つようにする。</p>	<p>◎興味をもったことに自らかかわり、繰り返し遊ぶ中で、新しい考えを生み出す楽しさやできるようになった喜びを味わわせ、あきらめずに取り組む力を育てる。(環境) ◎心と体の健康は相互に密接な関連があることを踏まえ、教師や友達とともに体を動かす中で、一人ひとりの幼児が自己の存在感や充実感を味わうことができるようにし、健康な心と体を育む。(健康) 【環境の構成】 ○多様な運動遊びを経験できるよう幼児の発達特性に合わせた魅力ある環境を整えるとともに、体育館・校庭・温水プールなどの施設や専門の講師を活用した指導を取り入れ、幼児が自ら体を動かそうとする意欲を育てる。</p>	<p>【3歳】 ○幼児一人ひとりとの信頼関係を築き、安定した気持ちで過ごせるようにする。 ・思いを受け止めたりスキンシップを図ったりする。 ○幼児の興味関心を捉え、自ら心身を動かしたくなるようなリズム表現や運動遊びを意図的、計画的に取り入れていく。 ・巧技台、マット、ボール、フロアカー、三輪車 など ○経験を土台に、幼児が自分から体を動かしたくなるような環境の工夫をする。 【4歳】 ○自分でできるようになったことに自信をもち、いろいろなことに意欲的に取り組めるようにする。 《具体的な手立て》 幼児が主体的に取り組めるよう、また、段階的に経験を積み重ねていけるよう、発達や興味関心に即した活動を精選する。 《幼児の経験内容》 ・活動の準備や片づけなど、自分でできることを率先して行う。 ・新しい活動に興味関心をもって、自分から関わる。 ・いろいろなことに力を出して取り組み充実感を味わう。 ○身体を動かす遊びにすすんで取り組むことを通して爽快感や心地よさが感じられるようにすると共に、友達と一緒に身体を動かして遊ぶ楽しさが味わえるようにする。 《具体的な手立て》 ・保育室、みんなの部屋、園庭、校庭、体育館などを有効活用し、様々な体の動きが楽しめるようにする。また、発達に即した集団遊びを取り入れ、友達と触れ合ったり、ルールを守りながら遊んだりする楽しさが経験できるようにする。 《幼児の経験内容》 ・運動遊具を活用して、走る、跳ぶ、投げる、蹴る、などいろいろな体の動きを楽しむ。 ・力いっぱい身体を動かして爽快感や心地よさを味わう。 ・友達と一緒にゲームなどをして楽しむ。 【5歳】 ○いろいろなことに挑戦する機会を作り、目標をもってそれに向かって取り組む経験ができるようにする。その中で、目標に向かって根気強く取り組み成し遂げていく充実感や、意欲をもちすすんで取り組む楽しさを味わっていけるようにする。 《幼児の経験する内容》 ・鉄棒、のぼり棒、うんてい(巧技台)、縄跳びなどを通して、自分の目標に向かって取り組む楽しさや繰り返し取り組む中でできるようになっていく喜びを味わう。 ・色水遊び、動くおもちゃ作りなどを取り入れ、自分なりに考えたり試したりして遊ぶ楽しさを味わう。 ○5歳児の年齢、発達に即した運動的な遊びを取り入れ、身体諸機能の発達を促す。その中で、子供が頑張る姿を大いに認め一人ひとりの自己肯定感を高めるとともに、友達の良さに気づき認め合ったり教えあったりできる関係作りを支援していく。 《幼児の経験する内容》 ・友達の姿に目を向けることで、「自分もやってみよう」と挑戦したり「こういうふうにするとよいのだな」とヒントを得たりしながら遊ぶ。 ・チームで競い合う遊びを取り入れ、同じチームの友達同士で相談したり力を合わせたりしながら遊ぶ 楽しさを味わう。(リレー、ドッジボール、しっぽとり鬼など)</p>

<p>なかよくあそぶ子ども</p> <p>【5歳】 【4歳】 【3歳】</p> <p>指導計画に記載</p>	<p>○主体的な遊びを支えたり、生活の仕方を工夫したりしながら、友達とのかかわりを豊かに展開できるようにし、友達と協同する力を育む。</p> <p>○小学校や近隣の保育所との連携や交流活動を計画的に実施し、人とかかわる楽しさを味わう中で、道徳性の芽生えを培い、様々な人への親しみの気持ちを育む。</p>	<p>○友達と協同的な遊びを楽しむ機会を重視し、様々な感情体験を通して自他を尊重し、人とかかわる力を育てる。(人間関係)</p> <p>○友達や教師に自分の考えを話す経験や遊びの中で友達と話し合いをする経験を積み重ね、言葉に関する感覚や言葉で表現する力を育む。(言葉)</p> <p>○体験したことや感じたことを表現したり、考えたことを実現したりする喜びを味わう活動を通して、豊かな感性や表現する力を養い、創造性を豊かにする。(表現)</p> <p>【環境の構成】</p> <p>○遊びを豊かに展開できるように、必要な経験を計画的に取り入れるとともに、保育の中に行事を無理なく位置づけることで、幼児が主体的に遊びを展開していく力を育む。</p> <p>○異年齢交流の充実に向け教職員の連携を密にし、日常的に交流をもてるような環境の使い方や活動の仕方を工夫する。その中で、幼児が様々な刺激を受け人との豊かなかかわりが経験できるようにする。</p> <p>○特別養護老人ホーム・商店などに出向き、様々な人と触れ合う機会を計画的に設定し、地域の様々な人への親しみや思いやりの気持ちを育む。</p> <p>【その他】</p> <p>○小学生との交流や合同行事を計画的に行い、憧れの気持ちや年長者とかかわる心地よさを感じられるようにする。</p> <p>○近隣保育園5歳児同士の交流を計画的に実施する中で、教育内容の理解や教材の工夫など教師間の連携を密にし、幼児にとって互恵性のある活動になるようにする。</p>	<p>【3歳】</p> <p>○自分のしたい遊びを見つけ、十分に楽しめるようにする。また、遊びや友達とのかかわりを通して、いろいろな感情体験ができるようにしていく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家庭の雰囲気を感じられるような遊具を用意し、安心して遊びだせるようにしていく。(家庭で遊んでいたと思われるようなまごど、プラレール、積み木などを用意しておく。) ・幼児一人ひとりの思いを受け止め、自分の思いを十分にらせるようにしていく。 <p>○自分の思いを教師や友達に出しながら遊べるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・気持ちが発散できるようなリズム、ふれあい遊びや教師と一緒に親しみをもちながらできるような手遊びを提示する。 <p>【4歳】</p> <p>○自分の思ったこと、感じたことを言葉で伝えながら遊び、友達と気持ちが通じ合う楽しさが味わえるようにする。</p> <p>《具体的な手立て》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・友達と関わって遊べる活動、環境を用意する。 <p>《幼児の経験内容》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ごっこ遊びなどで、友達と思いを出し合って遊びを楽しむ。 ・友達からの刺激を受けて、自分の遊びに取り入れる。 ・友達と一緒に遊ぶ楽しさを味わう。 <p>○思いがぶつかり、トラブルを起こすことを通して、自分とは違う相手がいることに気付いたり、折り合いを付けたりできるようにする。</p> <p>《具体的な手立て》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・友達とぶつかり合う場面を大切にし、気持ちを受け止めたり、相手に伝えられるよう仲立ちになったりして丁寧に関わる。 <p>《幼児の経験内容》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・友達に自分の思ったことを伝える。 ・相手の気持ちに気付く。 ・譲ったり我慢したりできるようになる。 <p>○つながりを深め、同じ学級の仲間という連帯感が感じられるようにする。</p> <p>《具体的な手立て》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学級のみんなで取り組む楽しさが体験できる活動を取り入れ、楽しさに共感したり、良さを認めたりしながら、一人ひとりが学級の中に位置付くようにする。 <p>《幼児の経験内容》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学級のみんなでゲーム、踊りなど楽しむ。 ・仲良しの友達と関わることを中心として、いろいろな友達と関わる楽しさを味わう。 ・学級の中で安心して過ごし、自分なりの動きを出す楽しさを味わう。 <p>【5歳】</p> <p>○イメージや思いを共有し、それに向かって遊びや活動を展開する中で、幼児同士が共に工夫したり協力したりしていく楽しさや充実感を味わう。</p> <p>《幼児の経験内容》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日常の好きな遊びの中で、イメージや思いを共有し、やりとりをして遊びを展開することを楽しむ。 ・運動会のリズム表現、学芸会、こども会での劇や合奏などを通して、学級の様々な友達と一つの目的に向かって取り組む楽しさを味わう。 <p>○友達と共に様々な活動に取り組む中で、様々な心を動かす体験をし、互いの感じ方や考え方、行動の仕方などに関心を寄せる経験ができるようにする。また、それらが行き交うことを通して、それぞれの違いや多様性に気付いていくことができるようにする。</p> <p>《幼児の経験内容》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学生との交流、保育園との交流、異年齢児との交流、特別養護老人ホーム訪問などを通して、様々な人とかかわる機会を一緒にもち、その楽しさ、嬉しさ、恥ずかしさ、驚きなどを共感する。 ・学級の集まり時に、その日の出来事を報告する場を設け、友達が話すことを聞くことを通して、様々な考え方や感じ方があることを知る。
--	---	---	--

<p>かんがえる子ども</p> <p>【5歳】 【4歳】 【3歳】</p> <p>指導計画に記載</p>	<p>○興味、関心をもって関わる ことができる自然物を整備した園庭環境や、年齢・発達に即した遊具や教材が整った室内環境を通して、幼児の直接的な体験を促し、好奇心や探究心を育む。</p>	<p>○季節行事やお茶会など、日本の伝統文化にふれる機会を大切にし、豊かな情操を培う。(環境)</p> <p>○稲や野菜の栽培を通して、身近な自然環境への関心を高めたり、自分たちが栽培したものを食べる喜びを味わったりすることで、幼児の豊かな感性や自然を大切にする気持ちを育む。(環境)</p> <p>【環境の構成】</p> <p>○保護者や講師の協力のもと、自然環境の充実を図り、園庭での自然物を使った遊び、5歳児親子での稲作体験など、様々な自然体験を積み重ねることができる環境を構成し、豊かな感性を育む。</p> <p>○地域や保護者の協力のもと、お茶会や鏡開きなど伝統文化にふれる活動を充実させ、日本の伝統文化のよさや豊かさを感じ、季節感を味わえる潤いのある生活や遊びを保証する。</p> <p>【その他】</p> <p>○特色ある教育活動として、年三回のお茶会を七夕や雛祭りなどの季節行事と組み合わせながら実施し、日本の伝統文化を大切にする教育を推進する。</p>	<p>【3歳】</p> <p>○いろいろな行事や、自然物との触れ合いやかかわりを通して様々な感情体験ができるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・園庭での生き物や植物の出会いを大切にし、幼児が感じたこと思った事を受け止めたり共感したりする。(オタマジャクシ、ダンゴムシなど身近な昆虫、栽培物の成長に興味をもって見る など) ・日本の伝統文化があることを知る。(こどもの日、七夕、十五夜、お正月、ひな祭り など) <p>【4歳】</p> <p>○いろいろな素材や用具を使い、試したり工夫したりして遊ぶことが楽しめるようにすると共に、少し難しいことがあっても自分の力を出して最後まで取り組めるようにする。</p> <p>《具体的な手立て》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幼児の興味関心に応じた材料や用具を使った遊びが出来るように環境を作る。また、最後まで頑張れるように意欲を持たせる、技術援助する、気持ちを支えるなど個々に応じて具体的な援助をする。 <p>《幼児の経験内容》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな材料を選んだり、工夫して使ったりして作りたい物を作る楽しさを体験する。 ・初めての材料や用具に興味をもって自分から使ってみようとする。 ・難しいことを教師に手助けしてもらいながら、最後まで取り組み、したいことを実現させる楽しさを味わう。 <p>○季節の変化に気付いたり、自然の物を遊びに取り入れたりしながら、好奇心や興味関心が高まるようにする。</p> <p>《具体的な手立て》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教師がモデルとなり率先して自然環境に関わる。また、自然の物を使って遊んだり試したりしながら好奇心や科学する心の目ばえを促していく。 <p>《幼児の経験内容》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身近な草花や生き物を見たり触れたりしながら、不思議に思ったり、変化に気付いたりする。 ・野菜や花の栽培を通して、成長や変化に気付く。 ・草花や木の実を遊びに使ったり、泥や砂に触れたりして、自然の物と親しむ。 <p>○自分なりに考えたり判断したりして主体的に行動できるようにする。</p> <p>《具体的な手立て》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活や遊びの中で、周りの状況に目を向けたり、どうしたらよいか自分で考えたりする機会を多くする。 一人ひとりの幼児の感じていることや考えていることを読み取り、自分から行動できるようにじっくり見守る。 <p>《幼児の経験内容》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・思ったことを自分から表現したり、困ったことや分からないことを自分から教師に尋ねたりする。 ・周りの様子をよく見て、どうすればよいか自分なりに考える。 <p>【5歳】</p> <p>○季節行事やお茶会などの行事を楽しみ、いつもの幼稚園生活と異なる体験をする中で、経験を広げていく楽しさを味わったり、様々な活動への意欲を高めたりできるようにする。</p> <p>《幼児の経験する内容》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3、4歳時の経験をもとに、お茶会に参加し、できることを進んでやってみたり、初めて取り組むことに意欲をもって取り組んだりする。 ・季節行事を通して、日本の伝統的な習慣に関心をもち生活に取り入れたり、行事の準備をしながら様々な活動に楽しみながら取り組んだりする。 <p>○園庭にある自然の物や、自分たちで育てる栽培物に、直接触れたり、確かめたりしながら、その特徴に気付き、興味・関心をより一層深め、科学的な見方や考え方の芽生えを培う。</p> <p>《幼児の経験する内容》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3、4歳時の経験をもとに、植物を使った色水遊び、アクセサリー作り、ごちそう作りなどの遊びを楽しむ中で、遊び方を工夫したり気付いたことを友達や教師に伝えたりする。 ・季節の野菜の栽培や稲作を通して、食物が育つ課程への関心を高め、自然に対する畏敬の念や愛情をもつ。また、収穫までの大変さを知り、食物を大切に思う気持ちをもつ。 <p>○友達の考えを聞いたり、一緒に試したり工夫したりすることを通して、自分だけでは発想しなかったことに気付き、新しい考えを生み出す楽しさを味わい、自ら考えようとする気持ちが育まれるようにする。</p> <p>《幼児の経験する内容》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日常の好きな遊びの中で、イメージや思いをより具体的にもちながら、友達と一緒に遊び場や遊びに必要な物を作っていく楽しさを味わう。
--	--	---	--

<p>開かれた園運営 ○学校評価を教育内容の改善と家庭や地域の教育力の向上にを生かし、教育活動の充実を図る。</p>	<p>○保育所や小学校との教職員間と互いの教育内容を理解し合い、協力して幼児や児童を育てていくために情報交流を進め、共通認識に立った交流活動の推進に努める。 ○保護者の保育参加活動や自由参加型のボランティア活動などを通して、保護者が園児全員のすこやかな成長を見守り、子育ての楽しさを感じられるようにする。 ○地域協力者やスクールカウンセラーとの懇談会、司書による親子読み聞かせ、預かり保育の充実などを通して、子育て支援を推進する。 ○教育活動の様子や幼児の成長の姿などを発信するとともに、地域や保護者からの声を教育活動に反映させ、幼稚園・家庭・地域が協力し合って幼児を育成する体制を強化する。</p>	<p>・保護者アンケートを年2回実施し、その結果を公表するとともに、教育課程等の改善に資する。また、保護者に学校の考えを学校便り、学年便り、保護者会等で積極的に伝え、理解・協力いただけるよう努める。 ・ホームページを活用して学校の状況を伝える。</p>
<p>特別支援教育の充実</p>	<p>○スクールカウンセラーや発達支援アドバイザーとの連携を深め、幼児を多面的に理解し、発達や特性に応じた指導の充実を図る。</p>	
<p>安全教育の充実</p>	<p>○多様な状況を想定した避難訓練、月一回の安全点検や環境整備の徹底、職員の危機管理意識の向上を図るとともに、安全に必要な習慣や態度を幼児が身に付けられるよう、指導を充実させる。</p>	
<p>園内研究</p>	<p>○主題「たくましく生きる子どもの育成～幼児の思考力・判断力・自己表現力を高めるための教師の援助～」</p>	<p>・平成27・28年度千代田区教育委員会研究協力校（園）による授業改善</p>